

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

市民活動・ボランティア

2005年 **11**月号
平成17年10月25日発行
通巻83号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバルス3階) / オールウェイズ(津センターバルス1階) / 津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央) / (有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1) / 市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15) / 南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内) / 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2) / 鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8) / 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33) / 四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17) / 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19) / ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市上野福居町3317) / みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階) / 伊賀市中央公民館 / 伊賀市立図書館 / 上野青年会議所 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇学館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター / エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1) / 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5) / 三重中央大学(松阪市久保町1846) / 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788) / 名張市市民活動センター(名張市夏見2812) / 松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪「寸庵」」(松阪市本町2217) / 伊賀市市民活動支援センター(伊賀市馬場1128番地) / ぐらしの情報センター同夢(名張市夏見251-1パークシティなばり) / 伊勢市民活動センター(伊勢市岩淵1丁目2-29)

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13) / 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南) / 三重県民サービスセンター(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 各市町村役場

「新しい時代の公」実践提案事業

平成17年度NPO(ボランティア・市民活動団体等)からの協働事業提案 その1

災害時における難病患者の行動・支援マニュアルの作成及び啓発事業

「IDDM」という言葉を聞いたことがありますか?「IDDM」とは、直訳すればインスリン依存型糖尿病=1型糖尿病とあって、自分自身で膵臓のランゲルハンス島B細胞の大部分を破壊してしまうことで発病します。発病の原因は、まだわからないのですが、小児期に起こることが多いため「小児糖尿病」とも呼ばれています。

この病気になると、膵臓移植や膵島移植を受けるか、生涯にわたって毎日数回のインスリン注射またはポンプによる注射を続ける以外に治療法はありません。糖尿病患者の99%を占める2型(成人型)糖尿病とは原因も治療の考え方も異なります。日本での年間発症率は、10万人あたり1~2名という希少な疾病です。

この生命維持に必須のインスリンは世界でたった3社しか製造してなくて、日本は全量を輸入に頼っています。また、その危険性から法的に厳重に規制されています。平成7年1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、被災地の患者はインスリンの入手等に変な苦勞を強いられました。この震災が契機となり、患者・家族の全国的連携を図るために私たちの組織は発足しました。

今年で創設10年を迎えますが、これまでの活動の中で三重県のような分野で活動する方々と偶然の出会いがありました。そして今回、「災害時における難病患者支援プロジェクト」を結成し、「災害時における難病患者の行動・支援指針の作成」を三重県の協働提案事業に応募し、採択されました。

全国の中でも三重県に提案したのは、三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会や特定非営利活動法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿といった専門性を持つNPOの存在、そして「協働」という意識が全国の自治体の中でもっとも進んでいると思ったからです。

災害時には、まず本人自身が生き延びることですが大切ですが、私たちは災害時でも治療を継続していかないといけないので、地域の薬局や医療機関、行政、NPO、企業のサポートが必要です。

このプロジェクトは、NPO、企業、医療機関、学術研究機関、行政との協働による全国初の取り組みです。私たちは、1型糖尿病を皮切りに難病患者全体へ適用できる仕組みを構築し、当事者の声が反映された本当に生きた仕組みを成果としたいと思います。この策定の過程や成果物を公開し、同じ様な悩みを抱える人たちに役立てる公共の取組として進めていきます。

(文責:特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク 副理事長 岩永幸三)

「新しい時代の公」ラウンドテーブルの発言者募集

- とき / 11月26日(土) PM1:30~PM4:30
- ところ / 県庁津庁舎6階大会議室
- 参加費 / 無料
- 内容 / 県では、「新しい時代の公」パートナー会議を設置し、「公」の活動を支えるしくみや課題解決に向けた検討を進めています。第3回は『資金のあり方』をテーマに、広く県民の皆さんと委員の意見交換の場としてラウンドテーブルを設定しました。そこで、意見を述べていただける方を募集します。対象は県内在住、在勤、市民活動などをされている方です。
- 募集期間 / 11月17日(木) 必着
- 募集人数 / 20人(応募者多数の場合は抽選)
- 問い合わせ先・主催 / 県総合企画局企画開発室
Tel.059-224-2644
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/KIKAKU/HP/ooyake/index.htm>

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

カラー複写機を活用した弱視者用『拡大教科書』作成支援 ～三重ゼロックス株式会社～

三重ゼロックスでの社会貢献活動は、自社の持つ経営資源（人、物、金、技術、情報など）を活用し、自社にふさわしく最も貢献できる分野で、継続して地道な

貢献活動を行うことを基本的な考え方としています。

会社主導で行う活動と社員の自主的な活動（端数倶楽部「Duet」※）との2つの側面から「教育支援」「環境保全活動」「社会福祉支援」「地域市民活動」などを行っています。

その活動の1つに、当社の特有リソースを活用した「拡大教科書作成支援」があります。

拡大教科書とは、弱視児童や生徒のために、一人ひとりの視力に合うように、教科書の文字や絵を大きく写した手作りの教科書です。教科書を単に拡大コピーしても弱視者には判読しづらいので、太いペンで字を大きく書き直し、挿絵やグラフなども書き写します。通常、読む速さとランドセルなどに入る大きさから、一冊の教科書が4～5冊の分冊になります。

現在、目に障害を持つ人々は、全国に30万人います。この内6～7割が弱視といわれています。弱視の子供たちは大変苦労しながら学習しています。このため、弱視の子供たちのためにボランティア

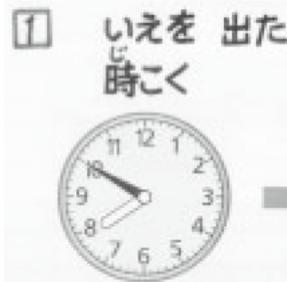


ボランティアグループの方による「拡大教科書作成」

「拡大教科書のイメージ」



普通の教科書



拡大教科書

グループの方々が教科書の拡大版を手作りで作成していますが、1冊作るのに数人がかりで2ヶ月以上かかっていた。

三重ゼロックスでは、1989年の富士ゼロックスでの活動開始を契機に2000年に三重県内での拡大教科書製作支援活動を始めました。その内容は、ボランティアグループ（拡大写本みえの会）の方々に当社事業所に来社いただき、カラー複写機を無料でご利用していただくという形で行っています。現在の拡大教科書作成支援は、本社（津市）と四日市事業所で年間約17,000枚に上り、今や拡大カラーコピーは、拡大教科書の製作上なくてはならない作業工程となりました。

拡大教科書を通して多くの児童・生徒たちが文化的な価値を共有していますが、わたしたちは、自社の持つ経営資源（複写機）の提供とコピー作業のお手伝いによって、本業を活かした社会貢献の精神を実感しています。

※端数倶楽部「Duet」

2005年6月に設立。趣旨に賛同する社員、役員によって構成され、自発的、自主的に運営しています。毎月の給与と各期の賞与の『端数』（100円未満の金額）に、個人の自由意志による拠出金をプラスして継続的に拠出してもらい、会員が必要と考える分野でその資金を有効に役立てています。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人（NPO法人）申請は1団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備置しております。

●認証申請団体

- (1) 名称 (2) 代表者氏名 (3) 法人事務所の所在地
(1) 鈴鹿市地域振興協議会 (2) 大谷光司 (3) 鈴鹿市東玉垣町2588番地の1 (平成17年9月15日～平成17年10月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人カルチャークラブ (平成17年8月29日)
特定非営利活動法人日本介助専門員推進協会 (平成17年9月7日)
特定非営利活動法人森林の風 (平成17年9月22日)
特定非営利活動法人チャレンジスクール三重 (平成17年9月22日)
(平成17年9月15日～平成17年10月14日届出分)

イベントスケジュール

「新しい時代の公」県民円卓会議

- とき・ところ／時間はいずれもPM1:30～PM4:00
10月30日(日) 県四日市庁舎附属棟1階第101会議室
11月6日(日) 県松阪庁舎6階大会議室
11月13日(日) 県津庁舎6階大会議室

11月20日(日) 県伊勢庁舎会議棟2階大会議室

11月27日(日) 県伊賀庁舎7階大会議室

12月4日(日) 県熊野庁舎5階大会議室B

●参加費／無料、事前申込不要

●内容／三重県では、みんなで力を合わせ地域を良くしていく活動を「新しい時代の公」とよび、県民が主役の社会の実現をめざしています。この方針を推進するために県内の各地域で「県民円卓会議」を開催します。県民円卓会議では、第1部として「これからの地域を担う住民像」を四日市大学教授の松井真理子さんに講演していただきます。第2部では、自治会やNPO関係者などが地域で活動する際の課題について話し合い、一般参加者とともに議論を深め、地域を主体的に担うことを考える機会にしたいと思っております。

●主催・問い合わせ先／県総合企画局企画開発室

Tel.059-224-2644 ホームページ

<http://www.pref.mie.jp/KIKAKUK/HP/ooyake/index.htm>

NPO法人市民社会研究所 Tel.0593-63-3539

家事家計講習会

●とき・ところ／11月5日(土) AM10:00～正午
ポルタ久居多目的研修室

11月5日(土) AM10:00～正午 津市中央公民館

11月15日(火) AM10:00～正午 南ガ丘会館

11月19日(土) PM1:00～PM3:00 千里ヶ丘公民館

11月22日(火) AM10:00～正午、PM1:30～PM3:30 フレンテみえサークル室

●参加費／300円 託児200円(要予約)

●内容／「友の会」会員の家計簿に対する取り組み、つけて見えてきた生活のムダムダの見直しなどの例やより良い生活をするための工夫について。このほか、会場によって大豆料理、食生活や家事のヒントなどを講習します。

●主催・申込・問い合わせ先／津友の会(石川)
Tel.059-232-0125
津友の家 Tel.059-225-9150(昼間)

.....
(社)津青年会議所公開例会
「みんなで考えよう地域社会の活性を！」

●とき／11月11日(金) 受付PM6:30～PM7:00
●ところ／三重県総合文化センター内生涯学習センター視聴覚室(図書館棟3階)
●内容／各種団体、企業の方に地域社会の活性に関する実際の実践についてお話し頂き、参加者の方々の今後の活動に役立てて頂ける機会となれば幸いです。情報交換の大切さ、地域貢献活動の大切さをみんなで確認し、今後、津のまちを元気にするためにどんなことが必要かなどについても思いをめぐらすことが出来ればと考えます。パネルディスカッションはPM7:00～PM8:50です。
●問い合わせ先／(社)津青年会議所(担当:増井)
Tel.059-227-3806

.....
青春キネマ館 『おとうと』

●とき／11月16日(水)
AM11:00、PM2:00、PM8:00(1日3回上映のみ)
●ところ／伊勢進富座 ●参加費／800円
●内容／複雑な家庭環境の中で寄り添って生きる姉と弟。道を外れていく弟を、慈しみ続ける姉を岸恵子が可憐に演じます。監督は市川崑。銀残しと呼ばれる特殊現像処理を試み、大正時代を表現したのは名カメラマン宮川一夫。豪華出演者のコラボレーションを、たぐいまれな映像美とともに堪能してください。
●問い合わせ先／青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会
Tel.0596-23-0839(受付時間PM7:00～PM10:00)

.....
三重県子ども虐待防止啓発月間協力事業

いい いくじのひ
11月19日子育てほっとダイヤル
～虐待予防は子育て不登の解消から！～

●とき／11月19日(土) AM9:00～20日(日) AM9:00まで
●内容／三重県在住の子育て中のお父さん、お母さん、またはご家族の方を対象にした電話相談です。子育ての悩みなどについて、助産師、心理カウンセラー、小児科医師、保健師、管理栄養士、保育士などが2名ずつ交代で、無料でお受けします。

臨時専用ダイヤル (気持ちを つなごうどうぞここへ)
Tel.0594-27-1055

●主催・問い合わせ先／桑名市大字西別所302番地 特定非営利活動法人MCサポートセンターみくみえ Tel.0594-21-4935
Fax.0594-22-9835 E-mail fcmatsu@lily.ocn.ne.jp
ホームページ http://www3.ocn.ne.jp/~mcs/
●協賛／財団法人くわしん福祉文化協力基金
●協力機関および団体／県内5児童相談所、NPO法人CAPNA

.....
外国人のための専門相談会

●とき／11月20日(日) PM1:30～PM5:00
●ところ／アスト津3階 ミーティングルーム3・4
●内容／弁護士、行政書士、保険・年金、労働の専門家に無料で相談できます。ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、タイ語、タガログ語の通訳がつかます。
●申込方法／事前予約制。電話またはFaxで予約してください。予約開始日は10月24日(月) AM9:00
●主催・申込・問い合わせ先／津市羽所町700アスト津3階(財)三重県国際国流財団(担当:小林) Tel.059-223-5006
Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp
●共催／三重県

.....
【三重県科学技術振興センターのイベント】

◆◆◆科学をもっと身近に感じる講演会◆◆◆

●とき／11月23日(祝・水) 受付PM12:30～PM1:00～PM4:00
●ところ／四日市市文化会館第3ホール

(四日市市安島二丁目5番3号)

●参加費／無料 ●応募締切／11月10日(木)
●内容／2002年にノーベル化学賞を受賞された田中耕一氏をはじめ多くの子どもたちに、科学する心を育ていらっしゃる富山県上市町教育長の澤柿教誠氏に、「科学との出会い。好奇心が輝くとき」と題した講演を行っていただきます。講演会では講演と科学実験の実演を行います。少し遠い存在として受け止められがちな科学。忘れてかけていた好奇心をこの講演会をとおして再び呼び起こしてみませんか。
●募集人数／主に高校生以上を対象とし、定員200人(応募者多数の場合は抽選)
●申込方法／名前(グループの場合は代表者のみ)、参加人数、住所(グループの場合は代表者のみ)、連絡先(電話番号、Fax、E-mailのいずれか)を明記し、電話、Fax、E-mail、郵送のいずれかで下記まで。電話の場合は平日AM9:00～PM5:30にかけてください。
●申込・問い合わせ先／科学技術振興センター総合研究企画部
Tel.0593-29-3620 Fax.0593-29-8016
E-mail info@mpstpc.pref.mie.jp
ホームページ http://www.mpstpc.pref.mie.jp/

◆◆◆食の安全・安心講座◆◆◆

●とき／11月26日(土) PM1:30～PM4:00
●ところ／四日市農協会館8階南ホール
●参加費／無料 ●募集人数／定員100人
●内容／食の安全・安心と新しい技術について、科学技術社会論の立場からその考え方、方法についてわかりやすく解説します。
●申込・問い合わせ先／科学技術振興センター総合研究企画部
Tel.0593-29-3609 Fax.0593-29-8016
E-mail info@mpstpc.pref.mie.jp

◆◆◆伊勢湾の環境に関する講演会◆◆◆

●とき／11月27日(日) PM2:00～PM4:00
●ところ／県生涯学習センター2階視聴覚室
●内容／伊勢平野の河川と伊勢湾の生物達について。
●募集人数／定員60人(先着順)
●申込方法／生涯学習センターまで電話、Faxで連絡、または直接窓口まで。
●申込先／生涯学習センター Tel.059-233-1150、1151
Fax.059-233-1155
●問い合わせ先／科学技術振興センター水産研究部
Tel.0599-53-0130

◆◆◆第10回なるほど・なっとくセミナー◆◆◆

●とき／12月3日(土) PM1:30～PM4:00
●ところ／県松阪庁舎大会議室
●参加費／無料
●内容／三重の食の安全・安心を支える技術をわかりやすく紹介します。
●募集人数／定員100人 ●応募締切／11月24日(木)
●申込方法／電話、Fax、E-mailのいずれか。
●申込・問い合わせ先／科学技術振興センター総合研究企画部
Tel.0593-29-3620 Fax.0593-29-8016
E-mail info@mpstpc.pref.mie.jp

.....
2005年度国際交流団体セミナー

～「困った、どうしよう?」が
「そうだ!どうしよう!」に変わる、9時間30分～

●とき／【第1回】11月24日(木) PM1:30～PM5:00
【第2回】12月3日(日) AM10:00～PM5:00
●ところ／アスト津3階交流スペース
●参加費／1000円
●内容／現在取り組んでいる事業は、地域のニーズに合っていますか?課題解決の手法は適切ですか?担い手の役割分担は上手いっていますか?事業終了の時期、その後のビジョンは明確ですか?今回のセミナーでは、国際分野での効果的な事業企画、実施に必要な手法を実践的に学びます。講師は第1回が愛知淑徳大学教授、ブイ・チ・トルンさん、第2回がIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)研究主幹の田村太郎さんです。
●応募締切／11月9日(水)
●申込・問い合わせ先／(財)三重県国際交流財団
Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007
E-mail mief@mief.or.jp

全国男女共同参画都市宣言サミットin津記念事業 ワークショップ
伝えたい、考えあいたい 新しい津市の農業・農村

- とき/11月26日(土) PM12:15~PM1:45
- ところ/津リージョンプラザ2階 健康教室
- 内容/平成18年1月、新しい津市が誕生します。新しい津市にはどんな農業・農村があるのでしょうか。私たちに安らぎを与えてくれる緑豊かな農村、安全・安心な食生活を支える食料を生産する農業を、私たちはどのように守り育てていけばいいのでしょうか。ゲストは樹木医で元NHKエグゼクティブアナウンサーの松田輝雄さんと、日本女性会議2000津 テーマソング「SONG FOR YOU」を歌った津市出身のシンガーソングライター、関谷真美さんです。ワークショップの前には先着50人にお茶、おにぎりや豚汁のふるまいがあります。もちろん地産地消です。ワークショップの後はお花のミニアレンジ体験を行います。こちらも先着50人です。
- 申込・問い合わせ先/津・一志地域農業改良普及センター (担当:岩崎) Tel.059-223-5123
- 主催/津・一志地区農村女性アドバイザー

第6回 One Day Shop

- とき/12月1日(木) AM10:00~PM2:00
- ところ/津リバーサイドFKビル1階
- 参加費/入場無料
- 内容/リサイクル子ども服、ハンドメイド雑貨、焼菓子やパンが並びます。今回の目玉は500円で気軽に体験できるスクラップブックのワンコインレッスン。それと、双子ちゃんのおそろい服限定フリマです。店番がいらない、委託型フリマです。
- 主催・問い合わせ先/Honeyドロップス(平岡千帆) Tel.&Fax.059-237-5377
- ホームページ <http://honeydrops.boj.jp/>

【鈴鹿青少年センター】
おもしろ自然科学教室

- とき/12月10日、平成18年1月14日、2月18日 (全て土曜)
- 参加費/各回1500円程度(予定)
- 内容/「科学マジックの実験」をはじめ、各回、楽しい実験や制作などを行います。3回全てに参加できる方を優先しますが、1回のみ参加も可能です。対象は小学5・6年生。 ●募集人数/40人

ウインターアドベンチャー

- とき/12月3日(土)~4日(日) 1泊2日
- 参加費/3500円程度 ●募集人数/40人
- 内容/冬の森の様子を観察したり、森の素材を生かしたクラフトやアウトドアクッキングなどを行います。また、集団宿泊体験により、協調性や思いやりの心を育てます。対象は小学5年生~中学2年生。

第1回パソコン講座

- とき/12月1日(木)~15日(金)
- 内容/入門コース、ワード初級コースおよび応用コース、エクセル初級、応用コースなど11コースのうちから、好きなコースを受講できます。対象は県内在住の18歳以上の方です。
- 募集人数/各コース10~20人
- ……いずれも
- 応募締切/11月18日(金)
- ところ・申込・問い合わせ先/鈴鹿青少年センター Tel.0593-78-9811

ユニバーサルデザインのまちづくり講演会
『住環境のユニバーサルデザイン』

- とき/12月4日(日) PM1:30~PM3:30
- ところ/伊賀庁舎4階会議室
- 参加費/無料(申込不要)
- 内容/女性の視点から住宅内部やそれをとりまく環境についてお話しできます。講師は(株)NATS環境デザインネットワーク主任研究員で、一級建築士である老田智美さんです。
- 申込・問い合わせ先/NPOバリアフリースタジオ「同夢」 (担当:孫) Tel.0595-23-9513
- ホームページ <http://www.doumu.net>
- 主催/NPOバリアフリースタジオ「同夢」、三重県

ネットワークのよびかけ

三重県版特区の提案を募集しています!

- 三重県では、「みえの舞台づくり提案・実践事業(三重県版特区)」において、みなさんが活動しやすい環境づくりを行うとともに、県行政のあり方を見直していこうと考えています。三重県が行っている業務のうち、例えば次のような項目について、みなさまからの提案を募集しています。
- 自分たちの活動や事業を進めるために障害となっており、規制緩和や制度改正が必要なもの
 - 県が行っているけれど、自分たちにもできる(外部委託できる)もの
 - 自分たちの活動の支障になるので、廃止してほしいもの
- 提案する内容について、自ら実践する意思のある方なら、どなたでも提案していただけます。下記ホームページに掲載してある提案様式に記入の上、三重県政策推進室まで提出してください。
- 募集期間/10月11日(火)~11月11日(金) 必着
 - 提出・問い合わせ先/県総合企画局政策推進室(担当:八太、丹羽、瀧口) Tel.059-224-2062 Fax.059-224-2075
 - E-mail seisaku@pref.mie.jp
 - ホームページ <http://www.pref.mie.jp/D1SOUKI/tokku/>

盲導犬啓発カレンダーを作製しました

- 身体障害者の補助犬法が施行されて三年、行政機関・マスコミなども啓発に努力していただいているところですが、残念ながら三重県では入店・宿泊拒否が続発しています。補助犬法の存在を知らない、知っていても内容はわからない、補助犬の状態や必要性の認識がないなど、理由は様々ですが啓発が不十分であることは否めません。
- そこで、NPO法人三重補助犬普及協会では啓発の一環として平成18年版(2006年版)盲導犬啓発カレンダーを出版しました。愛地球博で一週間、写真展示会を開かれた滋賀県のパピウオーカー、リタイヤドッグボランティアの写真家伊藤雄氏から著作権をいただいて製作したもので、とてもかわいいわんちゃんの写真ばかりです。
- サイズ・内容/A4版 上部に写真、下部にカレンダーと啓発用語。オールカラー12枚。
 - 価格/1000円(送料別)10部まとめてお求めいただくと1部サービスがあるほか、市民団体などで100部以上取り扱ってくださる場合は特別価格でおわけいたします。
 - 問い合わせ/NPO法人三重補助犬普及協会事務局 Tel.&Fax.059-222-8419

ライトミュージックフェスティバル(第17回LMF)
出演バンド募集

- 県内で活動するアマチュアミュージシャンたちの「憧れのステージ」と呼ばれているライトミュージックフェスティバルを今年は津市で開催します。今回から高校生(中学生を含む)部門を新しく設けました。一般部門と繰り広げる熱いバンドバトルにご期待を。
- 【ライトミュージックフェスティバル】
- とき/平成18年3月5日(日)
 - ところ/アスト津 アストホール
 - 応募資格/主要メンバーが県内在住・在勤のアマチュアで、社会人が学生(中学生以上)のグループ、個人。応募曲はオリジナル、コピーを問わないが、登録したメンバーでライブ演奏できるもの。
 - 応募締切/11月27日必着(郵送の場合、消印有効)
 - 申込方法/県内市町村の文化担当課や楽器店、ライブハウス、練習スタジオなどに置かれている応募用紙を使用。
 - 申込・問い合わせ先/515-2332 松阪市嬉野町津屋城町1420-1 三重県軽音楽振興協議会(K-Net)事務局内 第17回LMF出演バンド募集係 Tel.&Fax.0598-42-6656
 - E-mail knet@guitar.ocn.ne.jp



助成金 ニュース

J T 青少年育成に関するNPO助成事業

- 受付締切/11月15日(火)消印有効

助成の対象となる団体 / 非営利法人で、平成17年9月30日時点で法人として1年以上の活動実績を有する法人。

助成の対象となる活動 / 非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成に繋がる事業。例えば、青少年が地域社会へ参画する事業、青少年が様々な人々と交流または様々な体験をする機会を提供する事業、青少年を育成するための指導者・リーダー等の養成、あるいはこうした事業の基盤整備、体制、プログラム、場所等の整備、広報 など。

育成の対象となる青少年は、小学生から高校生までを考えています。

対象事業の期間 / 2006年4月1日～2007年3月31日

助成の額 / 年額上限200万円。30件程度。

応募方法 / 「応募書類郵送希望」と明記の上、団体名・代表者名・郵便番号・住所・電話番号を記載し、切手(200円分)を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封して、応募締切日の2週間前までに事務局宛に郵送するか、ホームページからダウンロード。

問い合わせ先 / 日本たばこ産業株式会社 パブリックリレーション部 社会貢献室 105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1JTビル
Tel.03-5572-4290 Fax.03-5572-1441 ホームページ
<http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/Welcome.html>

トヨタ財団地域社会プログラム

受付締切 / 11月21日(月)消印有効

助成の対象となる活動 / 【(1)活動助成】地域社会の再構築と活性化を目指し、地域に誇る人々が主体となった実践的なプロジェクトへの助成。1件あたり上限200万円。

【(2)成果普及助成】以下2カテゴリーあります。1件あたりの助成金の上限は(A)100万円程度、(B)400万円とします。

(A)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似な実践をしている人たちと比較、共有することを目的とした「活動記録の出版」

(B)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたくわえられたものを、地域間で共有し広めるための「広域ネットワーク」

対象事業の期間 / 平成18年4月1日～平成19年3月31日

応募方法 / 希望する助成を明記し、送料分切手(1部140円、2～3部390円)を同封し、下記まで11月11日(金)までに申込み。応募用紙はホームページよりダウンロード。

問い合わせ先 / (財)トヨタ財団地域社会プログラム係 163-0437
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 私書箱236号
Tel.03-3344-1701 Fax.03-3342-6911
ホームページ <http://www.toyotafound.or.jp/>

キリン福祉財団

受付締切 / 11月22日(火)消印有効

助成の対象となる団体 / 4人以上のメンバーが中心になって活動する地域福祉活動を目的とする民間団体。法人格の有無不問。

助成の対象となる活動 / 地域における子育て支援ボランティア活動で、母親・乳幼児・小中高生・障害児・超世代(世代間交流)等に対する活動が対象。

助成の額 / 総額2300万円。1件あたり上限は30万円。

助成の期間 / 平成18年4月～平成19年3月

応募方法 / 申込用紙に記入し、添付書類と共に郵送。用紙は下記に請求するか、ホームページからダウンロード。

申込・問い合わせ先 / (財)キリン福祉財団事務局 104-8288 東京都中央区新川2-10-1 Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525
ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

数納(かずのう)賞

受付締切 / 11月30日(水)必着

賞の対象 / 児童の健全な育成に関し、児童福祉施設(児童館、児童養護施設など)、地域組織(子ども会、母親クラブなど)、家庭相談員、里親などの活動の具体的実践報告。

応募方法 / A4版・横書き400字詰、30枚程度を厳守。黒のボールペンまたは黒インクを使用。ワープロ使用の場合は20字×20行横書き。原稿と別に、報告題名、住所・氏名(フリガナをつける)、年齢、職業、連絡先、電話番号を明記した用紙と報告の概要(400字詰3枚に要約)を添付。

受賞 / 数納賞1編(賞状と賞金30万円)、佳作4編(賞状と賞金各5万円)なお、佳作に準ずると評価された報告は選外ながら特に奨励賞(賞状と賞金3万円)を設けます。

選考基準 / 活動の先駆性、普及性、社会的効果性。

地域・地域住民、各施設、行政などとの連携状況。

自己の活動への客観的検証。

文章構成における論理性・実践記録としての価値。

申込・問い合わせ先 / (財)児童健全育成推進財団

150-0001 東京都渋谷区神宮前5-5-3-1 こどもの城10階

Tel.03-3486-5141

新日本友の会

受付締切 / 11月30日(水)

助成の対象となる団体 / 身体障害者及び知的障害者の福祉に関する事業を直接営む団体。原則として設立後1年以上活動している団体、社会福祉協議会などの支援団体は除く。

助成の額 / 30～100万円(1件)

応募方法 / 電話にて連絡を取り、必要書類を入手。

問い合わせ先 / 新日本友の会 担当:山田敦子)

108-8005 東京都港区港南1-8-15 Wビル

Tel.03-5495-2784 Fax.03-5495-2785

第8回日本水大賞

受付締切 / 11月30日(水)郵送の場合当日消印有効

対象となる団体 / (1)学校 (2)企業 (3)団体(NPOや公益法人など)(4)個人 (5)行政

対象となる活動 / 水環境系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下の分野における諸活動。(1)水環境 (2)水資源 (3)水文化 (4)水防災。

応募方法 / 応募用紙は切手(140円)を貼り、送付先を記入した返信用封筒(A4版の入るもの)を同封して郵送するか、ホームページからダウンロードして入手。応募方法は送付または持参。

賞の内容 / 大賞「グランプリ」(賞状と副賞200万円)のほか、各大臣賞、市民活動賞など。

問い合わせ先 / 日本水大賞委員会事務局:(社)日本河川協会 102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 (担当:小野、佐藤 平日AM9:15～PM5:30) Tel.03-3238-9771 Fax.03-3288-2426
E-mail taisyo@japanriver.or.jp

ホームページ <http://www.japanriver.or.jp/>

高等学校または同等の学校に在籍している生徒を対象とした日本ストックホルム青少年水大賞もあります。詳細はホームページを参照。

日本郵政公社年賀寄附金配分

受付締切 / 11月30日(水)

助成の対象となる団体 / 社会福祉法人、更生保護法人、社団法人、財団法人、特定非営利活動法人

助成の対象となる活動 / A)社会福祉の増進を目的とする事業。

イ)風水害、震災等の非常災害による被災者の救助またはこれらの災害の予防を行う事業。

ウ)がん、結核、小児まひ、その他特殊な疾病の学術的研究、治療または予防を行う事業。

エ)原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業。

オ)交通事故の発生もしくは水難に際しての人命の応急的な救助または交通事故の発生もしくは水難の防止を行う事業。

カ)文化財の保護を行う事業。

キ)青少年の健全な社会教育を行う事業。

ク)健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業。

ケ)開発途上にある海外の地域からの留学生または研修生の援護を行う事業。

コ)地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境補保全)を図るために行う事業。

対象事業の期間 / 平成18年4月1日～平成19年3月31日

助成の額 / 1件あたり上限500万円

応募方法 / 申込書類は最寄りの郵便局で入手するか、ホームページからダウンロード。

問い合わせ先 / 日本郵政公社 郵便事業総本部 年賀寄附金事務局 100-8798 東京都千代田区霞が関1丁目3番2号

ホームページ <http://www.post.japanpost.jp/kifu/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶ 伊勢市 ▶▶▶

いせ市民活動センター
パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
 ■開館時間 午前9時から午後10時 <http://skc.e-ise.net>

～伊勢市合併記念!!～
**チャリティー
 コンサート開催**
 開催日程●12月3日(土)
**オレンジの羽根募金を
 応援します。**
 チャリティーで集まった募金は、チャイルドライン24と伊勢市の防災の取り組みに寄付されます!
 ※当日会場に市民活動紹介のブース展示を行います。ただいまブース展示の参加団体を募集中!

第2回 いせeparts リユースPC寄贈プログラム
 予算不足などの諸事情で情報化が遅れている市民活動団体にパソコンを寄贈!
公募が始まっています。詳しくはパーティまで!

- ◆寄贈対象 伊勢市周辺の公益性を持つ活動(ボランティア活動など)を行なっている団体
- ◆公募期間 10月15日～11月31日
- ◆寄贈台数 2団体に3台ずつ、2団体に1台ずつ合計8台
- ◆選考方法 書類選考の上、12月17日の市民活動団体交流会で発表します

主催 NPO法人いせコンビニネット
 NPO法人eparts(東京)
 協力 NPO法人ひょうごんテック(兵庫)

パーティマーケット 移転!
 10月8日にリニューアルオープンしました
 営業時間: 11時～6時 定休日: 木曜日
 場所: 伊勢市宮後2-1-17ヒシダビル1F
 伊勢銀座新道商店街入口
 ●葉田建材さんの協力でこの場所を借りることができました

いせ市民活動センター
パーティいせ
 伊勢市岩渕1丁目2番29号
 TEL 0596-20-4385
 FAX 0596-20-4386
 Email/skc@e-ise.net

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

各地の
**ネットワークが
 ワークアップ**

▶▶▶ 伊賀市 ▶▶▶

WTAまちづくりセンター情報

TEL: 0595-24-2612, 090-3302-0629, FAX: 22-0092
 E-mail: nagai.474.36@yahoo.co.jp (休 中 盛 江)

11月28日(水) 伊賀市議会(上野原) 19:00～
 7日(水) 和歌山県議 9:00～
 9日(金) 三重県議会(伊賀) 19:00～
 9日(金) 伊賀市議会(伊賀) 19:00～
 10日(土) 社会 マネジメント研究会 19:00～
 14日(水) 伊賀市議会(伊賀) 19:00～

11月20日(水) 13:30～
 伊賀市議会(伊賀) 19:00～
 伊賀市議会(伊賀) 19:00～
 伊賀市議会(伊賀) 19:00～

11月20日(水) 13:30～
 伊賀市議会(伊賀) 19:00～
 伊賀市議会(伊賀) 19:00～
 伊賀市議会(伊賀) 19:00～

伊賀市市民活動支援センター

開設より7ヶ月がたちました。伊賀市内での援活動をはじめ、県内での「中間支援担当者ネットワーク交流会」や「協働についての世子勉強会」、また「協働事業ふりかえり会議プログラム検討会」などにも参加・参画し、情報収集に努めております。いろいろな情報をお寄せいただければ幸いです。その場合、チラシなら約100部を送ってくださいます。

市民活動・住民自治活動のための
税務研修会
 日時: 平成17年11月22日(火) 14:00～16:00
 場所: 伊賀市ゆめぼりすセンター 2F
 講師: 上野税務署 松尾正人さん
 三重県県税事務所、伊賀市税務課
 参加費: 無料
 詳細は下記までお問い合わせください。

〒518-1395 伊賀市市場 1128番地 多目的集会所内
 TEL: 0595-43-1135 (代表)
 FAX: 0595-43-2205
 Eメール: igasksc@ict.ne.jp
 ホームページ: <http://www.city.iga.lg.jp>

休館日: 月曜日・年末年始(臨時休館あり)
 開館時間: 午前9時から午後9時
 (ただし、午後5時以降は前日予約が必要です。)

がんばれネットワーク

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。「発明は人生を豊かにする手段」と言うみえユーモア発明クラブ代表の堀内司さんが紹介してくださったのは同クラブメンバーでもある坂本さん。美杉村の昔話を集めた本などを記されています。

伝説、昔話を集めて、ふるさとを知る

……坂本さんは美杉村のお生まれですか？

私は鳥取県生まれなんです。高野山の宿坊で精進料理を習っていた時に、夫を紹介されて、昭和44年にこちらにきました。来た当時は、誰も知っている人がいなかったのですが、伝説や歴史が好きだったものですから、皆さんにお話を聞かせてもらうようになりました。でも、あまりご存じないというか、おおまかな話は教えていただけるのですが、筋道だってお話いただけることがなくて…。その時に、元校長先生だった藤田貞郎さんが書かれた『美杉秘帖』という本を知り、役場から借りてきました。その中に美杉村の伝説が11話ほど、掲載されていました。

……その後、美杉村の伝説を記録、収集することになるのですか？
その頃、『日本昔ばなし』というテレビアニメが放映されていて、子どもたちが面白がって、真剣に見ていました。それを見て、この子どもたちがいずれ美杉村を離れて行った時に、自分たちのふるさとにも面白い歴史や昔話、伝説があるということを知っていて欲しいと思い、美杉村の昔話を集めて、書こうと思ったのです。

……書き始めるきっかけは？

ちょうど、美杉村村史を編纂する時でした。役場で広報の担当をしていた方と顔見知りでしたので「広報作りのためにあちこちに行かれるだろうから、民話や昔話があれば、ちょっと聞いてきて」とお願いしたところ、「美杉村広報に、その話を書かないか？」という話になり、月に1回、約7年連載させてもらいました。また、美杉村村史の筆耕もさせていただき、その結果、美杉村の知識をたくさんお持ちの方たちとも知り合うことができました。

……聞き取りが大変だったのでは？

当時は子育てと、しめじ栽培をしながらでしたから。私は車も乗りませんから、乗り物はバスや名松線。そこからは徒歩です。



坂本 幸 さんに 聞く

坂本さん手作りの紙芝居と共に。

……まずたどりつくのが大変ですね。

だから帰りは「送っていったら」とって(笑)。運転して下さるのはご家族ですけど、話を聞かせてくれたおじいさんやおばあさんが車に同乗して、私の家まで来てくださったこともありました。

……7年の連載という、80話近くもあるのですか。

いえ、私が平成6年に出した『美杉村のはなし』という本には180話近く掲載されています。本に収めていない話もかなり残っているのですが、もうまとめられないなあと思っています。本を書くときも自分で書いたというより、何かに書かせてもらった、そんな気がします。本当にいい時に取材をさせてもらったと思いますよ。お話を聞いた方のほとんどが今は亡くなりましたから、もう聞きたくても聞けません。

……子どもたちにもお話されたのですか？

話もしましたが、絵で見てもうもらっても印象が深くなるかなと思ひ、私が一番好きな「女郎石様」という話を大きな紙芝居にしました。その後、何本か、紙芝居は作っています。ここ3年ぐらい、津ケーブルテレビのお正月の特集としてこの紙芝居が放映されているのですよ。

……絵は誰が描いたのですか？

私。実は子どもの頃から、絵描きになりたかったの(笑)。でも、母親が早くに亡くなったので勉強できなくて…。「女郎石様」の紙芝居は27年ほど前に描いたものですから、絵が幼稚で。本当は描き直したいのですが、これも歴史なのかなと思って、そのままにしています(笑)。

……「女郎石様」とはどんなお話ですか？

美杉村の逢坂という地区にある女郎石弁財天にまつわるお話で、4つの時代のお話が繋がっています。最初は南北朝。今から600年ほど前に、時の帝の寵愛を受けた豊姫と竹姫という姉妹が逢坂に落ち延びてくるところから始まります。疫病で家来が亡くなり、土地

地の人もまじわりがない中で寂しく暮らしていたところ、竹姫も出ていってしまいます。後に残された豊姫が、ある不思議な形の石を見つけたところ、その石の中から宮廷で暮らしていた頃のように琴や笛の音が聞こえてきます。豊姫はこの石に「手なれ石」と名付けて、毎日のように舞遊ぶのです。この豊姫は早くに亡くなるのですが、「自分が死んだら、その石のそばに葬って欲しい」と遺言します。村の者がその通りにするとお墓から大きな女郎蜘蛛が這い出てきて、石の下に入っていったそうです。それから女郎石さんと呼ばれるようになりました。

……二つ目の話は？

南北朝からかなり時代が下った頃、夜になるとどこからともなくお囃子が聞こえ、火の玉が飛ぶようになりました。土地の人が「不思議だ、気味が悪い」と話していたところ、火の玉が自分たちを招くように飛ぶのです。それで、その火の玉の後に付いて、裏

取材時、自分で汗水して、 村を回らせてもらいましたから、 村を大切にしたい。 傷つけないなあという 想いはありますね。

山に登っていくと、手なれ石から火の玉が出てくるのが見えました。次にその火の玉がパッパッと割れて、綺麗な女の人に姿を変え、音楽に合わせて踊り出したのです。最後には村人もまじって踊り、みんなで毎晩、踊り明かしたそうです。この歌の歌詞は今も伝えられています。お話を聞かせてくれた方は古い和綴りの本も残して見えましたよ。その次の時代は江戸時代の安政年間。違う地区にあるお寺の住職さんが手なれ石を盗んで、お金儲けをしようとするのです。力持ちを集めて、石を盗み出そうとしたところ、ある場所まで運んだら、そこから先はびくとも動かなくなりました。すると、石から火の玉が飛び出て、逢坂の人を呼びに行ったそうです。今、神社が建てられている所が、石が動かなくなった場所。その後、この手なれ石を女郎石弁財天(女郎石さん)の神様として祀ります。昔は、4月7日になると勤めも休んで、地区の方が盛大に祭ったそうです。今は7日に近い日曜日にお祭りされています。

……最後のお話の時期は？

明治時代です。明治時代に神仏混合ということで、神様が合祀されるようになりましたよね。その時に女郎石さんも氏神さんの境内に移されたのです。ところが、その後、逢坂では争いが絶えず、病気も流行るようになりました。「女郎石さんが土地を離れたからだ」と考えた人々は神社の禰宜さんをお願いし、石を返してもらったところ、元通り仲良く暮らせるようになったそうです。

……四つの話が繋がっているというのは珍しいですね。

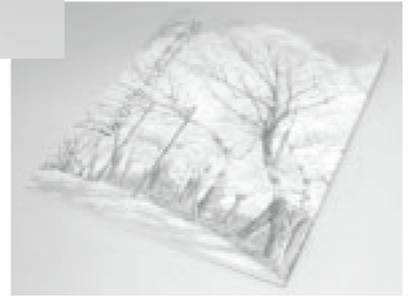
実は昭和に入ってから不思議な話があるのですよ。三人の男性が行方不明のおじいさんを探しに女郎石さんの山に入ったところ、女郎石さんの悪口を言ってしまったの。するといきなりドーンという地響きと共に大きな揺れが起こったそうです。「これは大変」と山を飛び降りた三人が、里で出会った人に「大きな地震があったなあ」と話すと、「そんな地震は無かった」と。たぶん、女郎石さんが怒られたのだということでした。私もいろいろな昔話を読みましたけど、このような話は他にはありません。だから、もっと偉い方がきちんと調べて、残してくれたらいいなあと思います。

……他にも本を出されていますね。

平成11年に『美杉村見てあるき』を出しました。昔話を取材するなかで、村内の名所、旧跡に行きますでしょう？いろいろな事を知ったり、感じましたので、そのことをまとめました。この本のイラストは娘が描いてくれました。これらの知識を生かして、今は語り部研究会としてボランティアガイドもしています。美杉村は伊勢本街道が通っていますから、そこを歩きたいと言う団体さんなどを案内させてもらっています。土、日曜に来ていただくとお津宿のお店だったお家には手作りののれんが掛かっていますよ。語り部のメンバーは20数人。上着と帽子も揃えました。



坂本さんの著書。上が『美杉村のはなし』。下が『美杉村見てあるき』です。



自然を生かして暮らす

……他から来たからこそ、美杉村のことがしっかりと見えたのでは？取材時、自分で汗水して、村を回らせてもらいましたから、村を大切にしたい。傷つけないなあという想いはありますね。その想いを託したのが出版した2冊の本なのです。これだけ歴史のある村だから、ゴルフ場などにはして欲しくないなあ。

……ゴルフ場建設の予定があったのですか？

すぐ近くに建設の予定があったのですが、計画を早い段階で知ることができたので、いろいろ動きました。最終的には多数決で建設反対に決まりました。地主さんの一人はゴルフ場に反対でしたから、ナショナルトラストをされました。このことをきっかけにして、12、3年前から野草茶作りを始めました。自然を壊すのではなく、活かしていきたいと考えたからです。それに自然を生かした方法でも、少しずつですが経済にも繋がっていくのではないかと思います。先陣を切りました。でも、後に続く方が…(笑)。

……どんな商品があるのですか？

野草茶はよもぎ、どくだみ、すぎなど。後、自生しているお茶の木から採った「山採り十年番茶」や400年余りの伝統の味わいある味噌ごんぼや自家栽培の野菜などをいかした漬け物や佃煮なども作っています。お茶は全て自然乾燥、野菜づくりは有機で農業は一切使っていません。

……どの辺りで販売されているのですか？

国道165号線沿いにある「おこしなして」で月に2回開催される朝市や、津まつりなどいろんなイベントに参加しているほか、大阪や東京、千葉の方まで送っています。食の関係としてはこの他に伝統食の会を続けています。11月7日(月)は美杉村のJR伊勢奥津駅内にある住民センターでスローライフ協会と共にイベントを行います。申込み制ですので、ぜひお出でください。

住所／一志郡美杉村下之川5056

Tel.059-276-0937

坂本 幸さんはこの人を紹介します。

中東和代さん

「むぎわらぼうしの会」というグループで、食育に関わる活動をされています。



自生の茶を自然乾燥させてつくった「山採り十年番茶」。香ばしいお茶です。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。